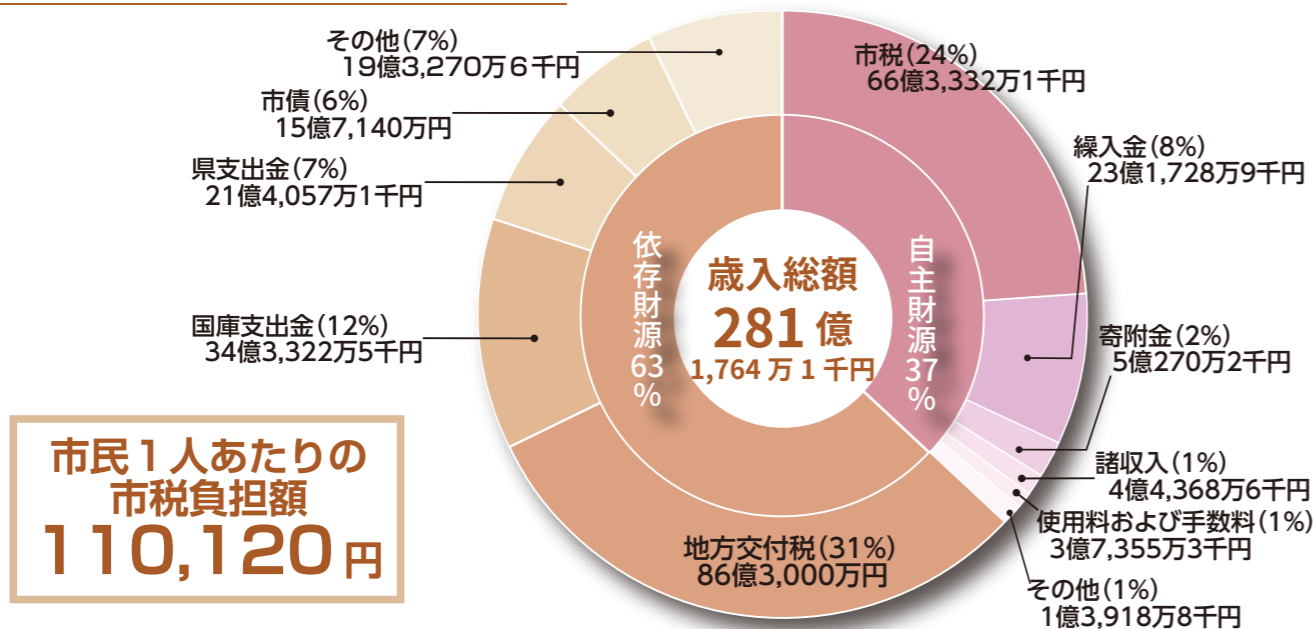
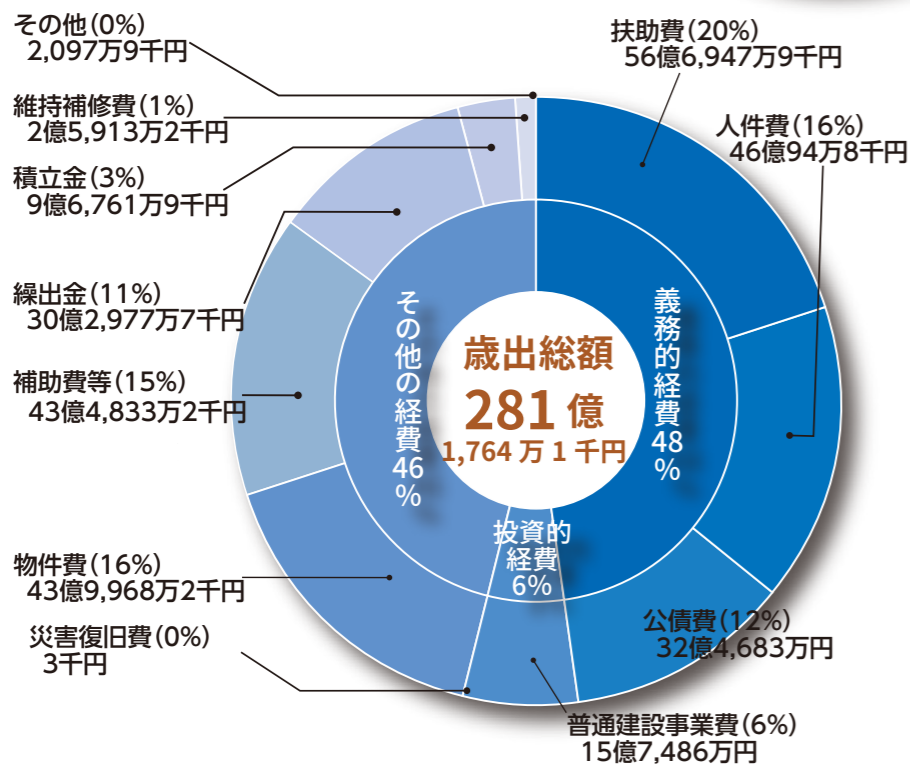


令和5年度一般会計予算額の内訳




市民1人あたりの市税負担額
110,120円



市民1人あたりが受ける行政サービス 466,784円

- 高齢者や児童の福祉 183,903円
- 戸籍・選挙・防災など 46,485円
- 道路・公園の整備 31,789円
- 商業や農林振興 28,651円
- 借入金の返済 53,901円
- ごみ処理や病気の予防 48,396円
- 学校・公民館や図書館 50,265円
- 消防・救急活動 19,199円
- その他(議会など) 4,195円

※予算額を令和5年1月31日の市の住民基本台帳登録人口数(60,237人)で除して算出しています。



各会計の当初予算額

- 一般会計** 281億1,764万1千円 (対前年度比 0.3%増)
- 特別会計** 176億986万2千円 (対前年度比 14.5%減)
- 企業会計** 168億8,885万2千円 (対前年度比 6.5%増)
- 全会計** 626億1,635万5千円 (対前年度比 2.9%減)

令和5年度 当初予算

市の一年間のお金の使い方をもとめた当初予算が決定しました。令和5年度の全会計の当初予算額は、前年度と比べて18億6,612万円(率にして2.9%)減の626億1,635万5千円となっています。このうち、一般会計は0.3%増の281億1,764万1千円、特別会計は14.5%減の176億986万2千円、企業会計は6.5%増の168億8,885万2千円となっています。

【財政課】

予算の概要

歳出

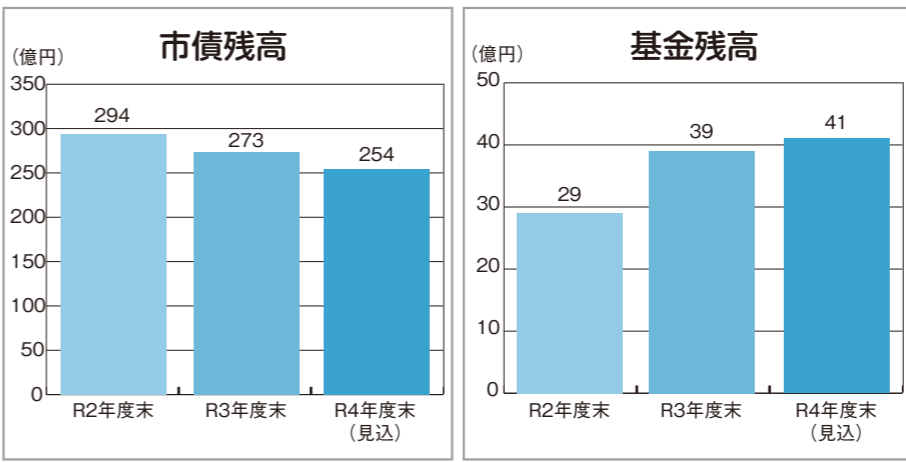
主な事業として、老朽化した紀見地区公民館、郷土資料館などの移転統合事業、(仮称)紀見こども園整備事業、道路施設等長寿命化のための道路維持修繕事業など、市内公共施設などの老朽化対策を進めます。また、防災行政無線システム再整備事業、住宅耐震改修事業費補助事業などの自然災害に対する防災機能の強化や結婚新生活の支援事業、子ども医療扶助費、がん患者支援助成事業など、人口減少・少子化対策の取り組みを反映した予算編成となっています。

歳入

市税については、個人市民税や法人市民税が改善傾向であるものの、固定資産税において、企業の資産の減価償却の進行による評価減などの影響により、減額の予算となっています。国庫支出金では、新型コロナウイルスワクチン接種関連補助金の減少により減額となっています。また、依然として社会保障関連経費などが増加することから、財源不足に対応するため基金からの繰入れに頼った予算編成となっています。

基金と市債残高

基金は、財政調整基金や特定事業のために積み立てた企業誘致基金などの特定目的基金を取り崩したことから減少しています。市債は、償還が進んでおり、残高は減少しています。



用語解説

- 歳入**
 - 自主財源 : 市が自主的に調達できるお金
 - 依存財源 : 国や県から交付されたり、借りたりするお金
 - 地方交付税 : どの市町村でも一定水準の行政サービスを行えるように、国から交付されるお金
 - 寄附金 : ふるさと納税などによるお金
 - 市債 : 財政負担の平準化や世代間の負担の公平性などを図るため、国などから借りるお金
- 歳出**
 - 義務的経費 : 支出が義務付けられた、必ず支払わなければならないお金
 - 投資的経費 : 道路や公園、小中学校や保育所などの整備費や大規模改修費、自然災害による施設の復旧などのためのお金
 - 物件費 : 光熱水費、保険料、委託料、消耗品などのお金
 - 扶助費 : 生活に困窮している人、子育て世帯、障がいのある人などの生活を支援するためのお金
 - 公債費 : 市の借入金の返済に使うお金